

## 第2回 魚津市教育振興基本計画策定委員会 会議録（要旨）

1. 日 時 令和2年11月20日（金） 午後3時から午後4時45分
2. 場 所 魚津市役所第一分庁舎2階会議室
3. 出席者 委 員 9名  
（出席委員：笹田会長、吉田副会長、上坂委員、高木姿子委員、高木寛子委員、馬場委員、水橋委員、宮口委員）  
（欠席委員： 臼井委員、橋本委員）  
事務局 10名（教育長、次長、生スポ課長、係長2名、地域協働課長、こども課長、学校教育係長、総務係長、菊地）
4. 議事等 (1) 計画素案について
5. 議 事
- |     |  |
|-----|--|
| 教育長 | 開会挨拶<br>— 教育長あいさつ —（略）   |
| 会 長 | — 会長あいさつ —（略）  |
| 事務局 | — 第1回策定委員会会議録について —  |
| 事務局 | — 今後のスケジュールについて —<br>パブリックコメント及び第3回策定委員会について説明                                   |
| 事務局 | — 協議の進め方について —<br>1～3章と4～6章にわけて、それぞれ説明後、意見交換                                     |
| 会 長 | 議事資料の説明をお願いします。  |
| 事務局 | — 議事説明 —<br>1～3章について説明   |
| 委員  | P17の表3においてタブレット端末等の所有状況とはどのように関連しますか。  |
| 事務局 | P16の生活習慣のところ、スマホ等の所有状況について記載しております。現状に対応して課題に情報モラルや情報に対する責任について育てていく必要があるとしています。 |

表3については、1人1台のタブレット端末を支給するために、家庭にどれだけネット環境があるか調査したものです。

表題について、家庭でおこなっているということが分かるような表現に変えたいと思います。

委員 タイトルを変えればわかりやすくなると思います。

委員 P14 いじめ等への対応は、スクールカウンセラーの支援を受けとありますが、道徳教育を行うとか、自信や目標をもたせるとか、事態が起こってからではなく予防が必要だと思います。

おもいやりの教育を推し進めるということを前面に出した方がいいと思います。

会長 1つ目の課題で、人権の尊重、豊かな心を育てる教育活動の充実が必要となっています。

委員 具体的に書かなくてもよいのでしょうか。現場の先生がこれを見て判断されるということでしょうか。

内容が抽象的で、読む人によって判断が異なってくるのではないのでしょうか。

事務局 3章では現状と課題としており、5章で施策の展開を行うということになっています。P50に豊かな心とは、「自己肯定感を付け、命を尊び、他者を思いやる心を育てる」としているところです。

前回、ご意見を頂いていた挨拶についても2つ目に「気持ちの良い挨拶や返事ができ」と記載しております。

言われたとおり、予防的なことが記載されていないので、具体的に盛り込んでいきたいと思います。

委員 先ほどのご意見については、よくわかります。計画の中では、対処療法的な印象を受けるというご指摘だと思います。

課題の〇の二つ目が、そのように感じる一文なのかなと思います。スクールカウンセラー等は、対処療法だけではなく予防的にも関わっています。あるいは、教員への研修という役割も持っています。起こってからだけというわけではないですが、1文目が起こってからという印象があるので別の表現がいいのかなと思います、

関連してですが、現状のとらえ方ですが、いじめや不登校の出現率は前

年度と比べてとでてきますが、この計画は5年に1度の計画なので、前年度と比べる数値でいいのか、それとも5年のスパンでとらえた変化をみて状況をとらえた方がいいのかということです。例えば、不登校は、国、県、本市においても5年前と比べると非常に増えています。これは、本市においてそれ以上に増えていて大きな課題となっています。前年と比べるよりは、何年か前と比較した方が、国の動きと合わせて市の課題となる数字を挙げた方がいいのではないかなと思いました。

事務局　　ご指摘のとおり、前年度と比べています。5年前と比べると明らかに増加しており、大きな問題となっているので、表現を改めたいと思います。

委員　　P11の現状のとらえ方ですが、学力調査の質問からグラフが作成されていると思います。中学校の課題は、不読者が多く、2極化が進んでいます。この点について施策で反映されなくても、現状にそのような視点を入れてみたらどうかと思います。

委員　　追加してよろしいでしょうか。この計画は令和3年から5年間の計画だと思います。質問に対して、子どもたちは、令和元年度までの現状で答えていると思います。令和2年度はコロナ禍により相当な影響を受けています。コロナ禍が、数年で収まりそうもない。GIGA構想の大転換が起きたように、世の中が変わりつつあります。勉強・読書時間の令和2年度以降の子供の実態が大きく変わっていると思うので、この数値を持つてくるのは学校現場としては大変厳しいです。この数値をもって、具体的な施策が考えられているので、コロナ禍の影響をどのように考えていくか。中学生の不読書もどのように変わるかすごく気になるところです。

会　長　　令和2年度は、全国学力・学習状況調査が中止になり、数値が取れないこととなります。

事務局　　不読書については、現状に反映していきます。  
統計をとる機会が、全国学力・学習状況調査となります。今年度は、かなりイレギュラーな年ですが、この調査を継続していくことにより、次回の計画にも見えてくるものもあるのかと思います。

会　長　　総論的な部分で、コロナ禍の影響について、臨機応援に対応していくというようなことを入れておけば対応できるのではないかなと思います。

- 次長 コロナ禍が、社会や教育環境に大きな影響を与えています。趣旨にコロナ禍について触れていない状況なので、現状にコロナ禍の影響を加えるようにしたいと思います。
- 委員 文章の中で、「コロナ禍の影響について考えていかなければならない」と入ってくれば、この数値でも問題ないと思います。
- 委員 P15「学校に行くのは楽しいですか」やP17「朝食を毎日食べていますか」という問いに「あてはまる」という表現がおかしいのではないかと思いますがいかがでしょうか。
- 事務局 質問に対しての回答がこのように形になっていますが、ご指摘のとおり、質問に対する答えとしてふさわしい表現を検討したいと思います。
- 会長 質問に対する選択枝は、どうなのでしょう。
- 委員 このままだと思います。
- 会長 選択枝がこのままなら、この表現が適切だと思います。
- 委員 このまま市のHPに掲載されたとき、市民はおかしいと思うのではないのでしょうか。
- 事務局 子供たちは、掲載している質問枝で答えています。公表するときの表現の適切さについて検討する必要があります。
- 会長 統計上の信憑性にも関わるところなので、ご検討いただければと思います。
- 委員 P11 課題の1番目ですが、「端末が実現される」とありますが、「端末の配布が実現される」という表現にするか、「1人1台タブレット端末」とかぎっこをつけての表現が必要と思います。
- 事務局 修正します。
- 会長 タブレットはすでに配布していますか。

- 事務局 中学校に優先的に配布するというので、11月に設定まで終わる予定になっています。12月に生徒のアカウントを作成し、12月に配布できればと考えています。
- 会長 小学校も今年度中に配布されますか。
- 事務局 小学校は、1月から各学校へ配布・設定作業を行う予定です、
- 議事説明 —  
4～6章について説明
- 委員 施策目標のほとんどが、割合から実数値に変えたという発言がありました。総合計画との関連性もあると思いますが、令和7年度まで、かなりの人口減少が見込まれており、目標を割合にすれば努力が報われるではという感想をもっています。  
P47の学習の達成状況は1年から6年生の平均でしょうか。
- 委員 達成状況ですが、小学校の場合は3年から6年生のすべての教科です。
- 委員 そうであれば、学年により表を分けないと勘違いを起す可能性があります。「3年生から6年生」と注釈を入れるなど、もし工夫できればしていただければと思います。  
P48 ②についてですが、前の指導要領では、特別支援教育に謳われていましたが、学習指導要領が変わって、幼小中高との連携が謳われています。学力向上の取組みとして、幼児教育との連携が入ってくれば安心できると思います。
- 事務局 ご意見の2点目の学力調査については、調査学年が分かるようにしたいと思います。  
また、「幼小中高との連携」も盛り込みます。
- 委員 学力調査であれば、小学校6年生、中学校3年生と明記するかどうか。現状にも関わってくるようになります。
- 会長 P47 小中教県研学力調査のところに学年を入れれば問題がなくなりますでしょうか。

委員	学力達成状況は、小学生は3年から6年生のテストを反映した数字、中学生は1年から3年までになります。その下の項目は学力調査の質問になりますので、小学生6年生、中学生は3年生と数値になります。これらについて明記するかどうかを含めてご検討いただければと思います、
次長	修正を行いたいと思います。
委員	小学生の子ども達は12冊の教科書を持っています。タブレットに12冊入るのかなと感じました。このデジタル教科書は、指導者用・学習者用のどちらのことを言っているのかなと思いました。 P61 ティーム・ティーチングや少人数指導という言葉がありますが、県の方針でいくと、今後5年間で少人数指導から専科教員への移行と県の会合で言い切られましたので、5年か10年かわかりませんが、この計画で「少人数指導」の記載について確認をお願いします。
次長	県の方針に沿った形にしたいと思います。
会長	デジタル教科書の注釈についても修正されるということによろしいですか。
委員	タブレットにデジタル教科書が入っているというふうに思われる可能性があるをお願いします。
事務局	注釈については、指導者用という意味合いで記載しておりますので、わかるようにいたします
委員	P40 「自覚と責任のある親育て」 でよろしいでしょうか。
事務局	親学びという言葉を使っていますので、どの表現が適切か検討します。
会長	親学びを使うとしたら、かぎっこがあればわかりやすいと思います。
委員	P51 ④子ども会議は、毎年何回開催していますか。 P54 ④「学校経営の改善」とありますが、運営と経営のどちらがよろしいのでしょうか。
事務局	P63 DVだけが記載されていますが、児童虐待、ネグレクトなどという言葉は必要ないでしょうか。

	<p>P65 公民館活動の利用者総数は、大人と子供の合計人数になりますか。</p> <p>P70 文化財が何かということを知りやすくするために、たてもんやちょうろくという言葉を入れた方がいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>こども会議については、注釈に開催詳細や委員について記載したいと思います。</p> <p>会議は、年1回行っており、小中学校の代表が集まり、テーマを決め議論しています。今年度は、コロナ禍により行っていません。</p> <p>学校の経営・運営については、検討します。</p>
会長	<p>法律において「経営」とあれば、経営を使えばいいと思います。最近、「経営」をよく使います。</p>
事務局	<p>P63については、委員が言われるとおり、DVだけではないと思いますので、子ども達を取り巻く環境に関するものについて記載したいと思います。</p> <p>利用者数は、大人を含めた人数です。大人と子供の人数について分けることが可能かどうか検討します。</p> <p>重要なお指摘ありがとうございました。指定されている・されていない文化財を保存し、伝えていきたいと思います。魚津市の文化財の紹介を記載したいと思います。</p>
委員	<p>P53「14歳の挑戦」の正式名称は「社会に学ぶ14歳の挑戦」であるので追加した方がよろしいかと思います。</p> <p>P50 道徳科の時間ではなく、道徳科でよいと思います。</p> <p>①いじめや不登校のあとに「未然防止」を追加すればよいのかと思います。</p>
事務局	<p>ご指摘のとおり改めたいと思います。</p>
委員	<p>P56 ①学校保健委員会が、あいさつ運動等を担っているように読み取れます。</p>
会長	<p>主体はどこになりますでしょうか。</p>
教育長	<p>各学校の保健委員会です。小学校においては、児童保健委員会です。</p>

委員 注釈を入れたらよいと思います。  
P72 アウトリーチ、P81 P D C A、P54 ゲストティチャー、  
ドメスティックバイオレンス

会 長 一般の方から見てわかりにくい言葉は、できるだけ注釈を入れた方がよ  
いかと思います。

次長 注釈をなるべくつけるようにしたいと思います。

委員 小学生の県外交流については、記載されないのでしょうか。

次長 その件については、事務事業のレベルになります。

委員 データーの中の年度が、H31 と R1 というのがあります。  
揃えられるものかどうかということを確認させていただきました。

事務局 — その他 —

会 長 本日、言い忘れた、言い足りなかったということがあれば、メールや電  
話でお知らせいただき、素案に盛り込んでいきたいと考えておりますので  
よろしくをお願いします。

会 長 それでは、これで第2回「魚津市教育振興基本計画策定委員会」を閉会  
したいと思います。  
皆様方、議事の進行にご協力いただきありがとうございました。